

本当にあった自然発火の話

お知らせ

当消防本部管内で、自然発火と思われる火災が発生しましたので、類似火災の予防を目的としてお伝えします。

オイルが含まれているタオル類を洗濯するため、洗濯乾燥機を使用したところ、油の酸化が促進されて発熱し、さらに長時間放置したことにより蓄熱され、やがて『自然発火』したものとみられます。



自然発火とは

物質が空気中において様々な条件が重なり、比較的低い温度から発熱し、その熱が長時間蓄積されることによって、自然に出火する現象のことです。

身近な例を挙げると、天ぷら油を、熱い状態でキッチンペーパーや布に吸わせ、丸めて捨ててしまったため、熱を持ったまま油が酸化発熱し、火災に至ることがあります。

火災を起こさないために！

マッサージ用オイルや食用油、動物油などが付着した洗濯物は、乾燥機で乾燥させず、自然乾燥にしましょう。

天ぷら油などの各製品には、油の温度、処分方法などが記載されていますので、必ず注意を読んでから使用・廃棄しましょう。

油の染み込んだ紙や布を捨てる場合は、水を十分に染み込ませるなどの処理をしましょう。

正しく使用して火災の予防に努めることが、あなたと大切な方の命を『**守り抜く！**』第一歩です。